

# 組織の目標設定シート(行政経営Aシート)

組織	薬事衛生課
職	課長
氏名	松田 豊久

<b>組織の使命・役割</b>	<b>何のために我が組織が存在するのか、我が組織が果たすべき使命・役割は何か</b>
食品と医薬品の安全・安心の確保を図る。	



<b>組織の目標</b>	<b>使命・役割を果たす上で、我が組織が目指すゴール(成果)は何か、その目標値はどのような水準か</b>					
<b>(定性的目標)</b>	<b>何をどのような状態にしたいか</b>					
①食品の製造・加工、流通・販売施設での衛生管理などの監視・指導を強化し、食の安全・安心の確保対策を推進する。 ②医薬品の有効性、安全性を確保し、医薬品の適正使用の啓発及びジェネリック(後発)医薬品の使用促進を行う。 ③危険ドラッグの販売や使用を規制し、早期の流通制限を図るとともに県民への普及・啓発により、健康被害の発生や重大な事故を予防する。 ④石川県の食の安全性を県内外にPR						
<b>(定量的目標)</b>	<b>具体的な指標、目標値を設定する</b>					
	<b>目標とする成果指標</b>	<b>現行値</b>	<b>年(度)</b>	<b>目標値</b>	<b>年(度)</b>	<b>目標値の設定根拠(他県との比較など)</b>
	①食中毒発生病件数(金沢市を除く)	5 件	H29 年度	8 件	H30 年度	H19～H28の10年間の食中毒発生病件数の平均(50%値)
	②ジェネリック医薬品使用割合	72.2 %	H29 年度	75 %	H30 年度	厚生労働省の目標値(最終目標値:80%(H32))
	③危険ドラッグに係る検挙人員	0 人	H29 年度	0 人	H30 年度	
	④いしかわ食の安全・安心・おもてなし認証店数(累積)	229 店	H29 年度	300 店	H30 年度	



<b>30年度に重点的に取り組むべき課題</b>	<b>左記の具体的な内容を記載する</b>
③危険ドラッグ対策の推進	危険ドラッグと認められる商品又はその疑いのある商品について、条例により「知事指定薬物」等に指定し、販売や使用を規制し、その流通を制限する。県民に対して危険ドラッグの乱用防止について普及啓発を行う。
④食の安全・安心確保総合対策の推進	石川県食品衛生協会が本県独自の「いしかわ食の安全・安心・おもてなし店」を認証し、県はHP等を活用して周知を図るほか、より質の高い衛生管理を推進するステップアップセミナーの開催を支援。